

1. 単元名 「はたらく人とわたしたちの暮らし」

小単元名 「店ではたらく人と仕事」

2. 小単元の目標

- ・ 自分たちの住んでいる地域では、工夫をしながら販売に携わっている人々があり、地域の人々の生活を支えていることを理解することができる。 (知識・技能)
- ・ 地域の販売活動や人々の願いについて調査することを通して、仕事の特色や他地域との関わり、販売に携わっている人々の工夫、消費者の願いを具体的に考え、仕事の工夫と人々の願いが繋がっていることに気付くことができる。 (思考・判断・表現)
- ・ 販売の工夫について知りたいという目的意識を持ち、意欲的に調査・表現することを通して、地域の人々の仕事への思いにふれ、地域社会に対する誇りをもつことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 小単元について

(1) 教材観

本小単元では、「地域のスーパーマーケットとコンビニエンスストア」を題材として取り上げる。

実際に家庭でどのように買い物をしているのかを調査することで、「地域のスーパーマーケットとコンビニエンスストア」が、生活に特に関係していることに気付かせる。また、家庭だけでなく、学校の先生方を対象に店を選ぶときの基準をたずねることで、調査活動を行う際の視点を明確にしたい。さらには、実際に「地域のスーパーマーケットとコンビニエンスストア」に行き調査することで、商品を売るための工夫や集客のための工夫を発見したり、コミュニケーションスキルが向上したりするよさが期待できる。

また、販売されている商品の仕入れ先についても取り上げる。実際に配布されているチラシを見て、どこから商品が仕入れられているのかを白地図に書き込みながら確かめる活動を行う。その活動を通して、商品の仕入れ先が国内だけでなく、外国など多岐に渡ることに気付いたり、地図帳の使い方を確かめたりすることができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、1学期に地域の地理的環境を調査している。この活動を通して、地域には様々な仕事現場があり、販売に関係する仕事も多くあることを学んできている。

また、本学級の児童は、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、デパートなどを主に利用している。さらに、家庭での買い物の経験から、消費者はある程度のニーズを基に店舗を選んでいることを理解している。しかし、店で働く人が具体的にどのような仕事をしているのか、店は売り上げを上げるためにどのような工夫をしているのかについて把握している児童は少ない。

そこで、地域の人々の仕事について興味をもつようになったこの期に本課題を取り上げる。

(3) 指導観

本小単元の指導にあたっては、まず、1学期に作成した地域の白地図を提示する。このことを通して、地域には様々な販売に関する仕事があることに気付かせる。そこで、販売に関する仕事に興味をもたせ、生活に関係する買い物はどこで、何を買っているのか調べさせる。その資料をもとに、訪れた店の一覧と頻度が

分かる棒グラフを児童と作成し、「スーパーマーケットやコンビニエンスストア」の利用頻度が高いことを知り、自分たちの生活と店の仕事はどのようにつながっているのか調べる課題をつかませたい。

次に、家庭や学校の先生方を対象に店を選ぶ基準をたずね、客の願いが多岐に渡ることをつかませる。その上で、「地域のスーパーマーケットとコンビニエンスストア」に行き、店の仕事や工夫を調べる。その中で、値段、品揃え、新鮮さなどの商品に関する工夫や、駐車場やポイント制度に関する集客の工夫、おつとめ品やリサイクル箱などの環境に配慮する工夫があることに気付かせる。また、実際の店舗で配布されているチラシを基に、店の品物はどこから来るのかを地図帳の中から探し、白地図にまとめさせる。この活動を通して、商品は国内外から集められていることを視覚的に理解させる。

そして、調査した結果分かった販売側の工夫と客の願いを提示し、関係するものをつなぐ活動を通して、販売側は消費者のニーズをもとに様々な工夫をしていることに気付かせる。その上で、消費者のニーズを満たすことが、売り上げを上げることにもつながることに気付かせたい。

さらには、これらの活動を振り返らせ、児童自身の生活を販売に携わる仕事が支えていることに気付かせる。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性・・・スーパーマーケットやコンビニエンスストアにはたくさんの品物が様々な値段や形で提供されており、それは客の願い (ニーズ) が様々なことを示していること。

相互性・・・客の願い (ニーズ) と店の工夫は密接な関係にあり、わたしたちはその店の工夫する姿勢に対して、感謝することや願いを伝えることが大切であること。

連携性・・・品物が客のもとに届くには、世界各地、全国各地の人々の手によって運ばれていること。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力 (システム・シンキング)

客の願い (ニーズ) と販売に携わる人々の工夫を調査し、それらが密接な関係にあることを理解する。
コミュニケーションを行う力

客の願い (ニーズ) と販売に関わる人々の工夫について、意見交流やインタビューを通して自分の考えを作り上げる。

他者と協力する態度

販売に携わる人々が行っている様々な工夫や、環境に配慮する思いを知り、自分たちにできることを考える。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正

販売に携わる人々も消費者も、お互いに願いや思いを知り、その願いをかなえるために工夫していくことが大切である。

・達成が期待される SDG s

1 2 生産と消費

1 7 グローバル・パートナーシップ

4. 小単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域には販売に関する仕事があり、人々の生活を支えていることを理解している。</p> <p>②地域の人々の販売の様子を観点に基づいて見学したり、商品の産地を地図帳で調べたりして、必要な情報を集めて読み取る技能を身につけている。</p>	<p>①地域の様子や家庭での買い物の様子から学習課題を見つけることができる。</p> <p>②販売に携わっている人々の工夫と消費者の願い（ニーズ）をつなげて考え、そのつながりについて人に説明することができる。</p>	<p>①地域の人々の販売の仕事に関心をもち、意欲的に調査しようとしている。</p> <p>②販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。</p>

5. 小単元の指導計画（全11時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○1学期に作成した校区地図を見て、様々な形態の店があることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット ・コンビニエンスストア <p>○家の人々がどんな店で買い物をしているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこで、何を買ったのか、レシートを取っておこう。（5日分） <p>○買い物調べを通して気付いたことをグラフにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1番利用しているのはスーパーマーケットとコンビニエンスストアだね。 <p>○なぜスーパーマーケットやコンビニエンスストアへよく行くのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な物を買うためかな。 ・色々な場所にお店があるからかな。 <p>○店で物を買う仕組みについて確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店はお金を出して商品を仕入れているため、売り上げを高めるには商品をたくさん売る必要があるね。 <p>○学習問題を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店の人は、お客さんに気持ち良く買い物をしてもらうために、どんな工夫をしているのか調べよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と作成した校区地図を提示し、特に販売店に着目させることで地域の中に販売に関する仕事が多くあることに気付かせる。 ・家庭に協力を求め、5日分のレシートを集める。 ・店舗の利用頻度を棒グラフにまとめる活動を提示し、スーパーマーケットとコンビニエンスストアの利用頻度の高さを確かめる。 ・レシートに記載してある商品名に着目させ、生活必需品が買われていることに気付かせる。 ・レシートに記載してある金額に着目させ、（売値）－（仕入れ値）＝売り上げになることを理解させる。 ・売り上げが低い場合はどうなるかを考えさせ、売り上げを高める必要があることに気付かせる。 	<p>△ウ1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ノート ・ノート ・児童観察 <p>△イ1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート

<p>2</p>	<p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にスーパーマーケットとコンビニエンスストアに行って調べてみよう。 <p>○家庭や学校の先生に店舗を選ぶ基準についてたずねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客には様々な願いがあるな。 ・客の願い（ニーズ）がどのくらい反映されているか調べてみよう。 <p>○スーパーマーケットとコンビニエンスストアを比較しながら見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの方がたくさんの商品があるな。 ・値段はスーパーマーケットの方が安い物が多いな。 ・コンビニエンスストアは電子レンジで温めてくれるよ。 <p>○見学して分かった工夫をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段が安く、火曜市などの特売日がある。 ・同じ商品でも、多くの種類がある。 ・すぐ食べられるように調理してある。 ・広い駐車場がある。 など <p>○商品は、様々な産地から集められた物であることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットやコンビニエンスストアには、日本だけでなく、海外からも商品が集まってくるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットやコンビニエンスストアで働く人々の仕事にはどのようなものがあるか話し合わせ、実際に見る必要性を感じさせる。 ・買い物調べの際に出た店舗名を一覧にして提示し、どうして様々な店舗に行くのか考えさせ、たずねる意欲をもたせる。 ・客の願い（ニーズ）から、見学する視点を提示し、目的をもって見学させる。 ・見学して見つけた工夫を出し合って分類する活動を提示し、様々な工夫を観点毎にまとめさせる。 ・スーパーマーケットで配布されているチラシを見て産地を調べ、白地図にまとめる活動を提示し、商品が世界中から集まっていることを視覚的に理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童観察 ・ワークシート ・ノート <p>△ア2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童観察 ・ワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・児童観察 <ul style="list-style-type: none"> ・ノート
<p>3</p>	<p>○店は売り上げを高めるために、客の願い（ニーズ）をたしかめ、工夫していることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客の願いと店の工夫はつながっているね。 ・客の願いが多様だから、店はたくさんの工夫をしていて、客もその時の願いに合わせて店を選んでいるね。 ・多くの客に喜んでもらえると、また来てもらえるから売り上げが高まるね。 <p>○活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活を店で働く人々は支えてくれているんだね。 ・これから買い物をする時は、色々な店のちがいや工夫を見つけて、自分の願いに合わせて店を選びたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに調べた客の願いと店の工夫を短冊にまとめ、線でつなげる活動を提示し、客の願いと店の工夫のつながることが、売り上げを高めることにつながることを理解させる。 ・自分たちの生活に必要な物を挙げさせ、それはどこで入手できるかを考えさせることで、販売に関する仕事は自分たちの生活と結びついていることを確認させる。 	<p>△イ2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート <p>△ウ2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート <p>△ア1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート

